

Be the Inspirasion

インスピレーションになろう

2018~19年度年度

国際ローター会長 Barry Rassin



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第19回例会 2019.1.21 (#2225) 会場:舞の間
例会ホスト・紹介係 保科君 会費係 秋山君
受付係 浅野君 木寅君
司会者 保科君 ソングリーダー 荘村君
卓話「職業奉仕月間に因んで」
濱田広道職業奉仕委員長

前回の報告

第18回例会 2019.1.7 (#2224) 会場:舞の間
例会ホスト・紹介係 保科君 会費係 濱田君
受付係 保科君 駒井君
司会者 澤本君 ソングリーダー 荘村君
卓話「新年ご挨拶」
新保雅敏会長・佐藤茂副会長

会長報告

- 1) 皆様、明けましておめでとう御座います。本年も宜しく願い申し上げます。本日は、内田地区青少年交換委員長に引率され、青少年交換学生の皆様が来訪しています。
- 2) 新年の早々に、嬉しいことです。新入会員のご紹介です。久保田、若林会員の推薦で藤田進太郎様です。今後とも宜しくお願いします
- 3) 荒川会員に、米山奨学会より、特別寄附への感謝状です。(6回目) 皆様も是非御協力下さい。
- 4) 7~12月入会者の皆出席表彰をおこないます。
28年:木元 23年:中谷 17年:地引 15年:植芝 9年:須藤 7年:浅野 6年:乳井 5年:荒川、飯嶋、藺、内田
3年:福田、後藤会員(敬称略)

幹事報告

- 1) 明けましておめでとうと御座います。本年もよろしくお願い致します
- 2) 地酒のご案内を配布いたしました、ご参加ください。
- 3) 例会終了後、定例理事会がございます。

今期のチャリティー企画は、国立演芸場での寄席となりました。演目・出演者など詳細は後日お知らせいたしますが、皆様のご協力をお願い致します。

ポリオ撲滅チャリティー寄席

3月中席公演 東京麹町ロータリークラブ主催

平成31年3月16日(土) 12:35 開演

12:15 開場予定 16:00 終演予定

3,500円 於 国立演芸場

例会記録

会員総数 44名 出席会員数 29名
ゲスト 8名 その他 0名
ビジター 1名 事務局 2名
海外ビジター 0名 出席率 70.91%

12月3日 Make-up後の
出席率 89.22%

【今週のMU状況】

中谷会員(1/10 東京中央 RC)
内田会員(1/10 地区青少年委員会)

ニコニコボックス

木元会員:明けましておめでとう
新保会員:新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いします。
若林会員:明けましておめでとうございます。
内田会員:青少年交換学生6名を連れて参りました
細谷会員:夫人誕生日(1/3)、年々、私より上に行っています
杉本会員:夫人誕生日(1/17)
誕生日祝:垣見会員(2日)奥会員(14日)
乳井会員(18日)福田会員(31日)

次回予告

第20回例会 2019.1.28(#2226)

会場:舞の間
例会ホスト・紹介係 杉本君
受付係 若林君 吉田君
会費係 乳井君
司会者 澤本君
ソングリーダー 荘村君

卓話「ミス日本酒(Miss SAKE)

の活動について」

2018年度ミス日本酒 須藤 亜紗実様
紹介者 保科会員

戦後の日本の復興と赤坂の貢献

赤坂丹後町会長 今井 鉄氏(11/19 卓話 齊藤会員紹介)



赤坂一帯は、10世紀ごろから「ひとつぎ村」と称していました。当初は「人継村」でしたが、1567年に「一ツ木村」に変わりました。当時は、迎賓館から赤坂御所辺りまでが一ツ木村でした。赤坂とい

う地名になったのは、現在迎賓館のある辺りの斜面一帯に茜が咲き誇っていたのでその一帯を「茜坂」といい、それがいつの間にか「赤坂」となったのが由来です。現在は通りや町会の名前に「一ツ木」が残っています。

赤坂の発展は、ひとえに人の移入によるものです。始まりは1590年、徳川家康が江戸城に入ったことにさかのぼります。参勤交代で全国の大名が江戸城周辺に武家屋敷を構えるようになり、そこから赤坂は栄え始めました。

明治維新になり、大名がいなくなった屋敷に明治政府の役人や、明治天皇と一緒に京都からやって来た公家たちが移り住みました。太平洋戦争後、公家たちは京都へ帰っていき、また空き家になったのですが、そこへ入ってきたのがホテルや大使館でした。

現在の赤坂は約3万6000人の住民がいますが、昼間は何と約20万人になります。そうして郊外から働きに来ている人たちによって、赤坂は栄えているのです。

日本は戦後復興を遂げ、昭和48年ごろに第一次オイルショックがありましたが、それまでの20年間の日本の経済成長率は年平均10%ほどでした。この2000年の世界経済の成長率は平均0.2%といわれているので、その40~50年分の成長を20年間も続けたことになりました。

これを成し遂げることができた要因は、一つ目に人です。戦後、きら星のごとく出てきたのが本田宗一郎さん、松下幸之助さん、井深大さん、盛田昭夫さんなどでした。

二つ目に、石油をいくらでも安く買えたことです。それによって火力発電を行い、大量に電気を作れるようになりました。

三つ目に、ドイツの「啓蒙官僚主義」を日本が「昭和16年体制」としてまねたことです。それが現在の日本工業規格(JIS)や日本農林規格(JAS)、建築基準法として残っています。それによって家電品を安く生産・販売し、またコストを下げていったので、日本の一人勝ちでした。そうして自由貿易と資本経済の恩恵を最も受けたのが日本でした。

四つ目に、教育です。明治元年当時、イギリスに比べても日本の就学率は男女とも高かったのです。江戸から明治にかけて日本が列強の属国にならなかったのは、民度が高かったため、侵略ではなく交渉の相手になったからです。

では、赤坂は日本の復興にどう貢献したかという、やはり人だと思えます。名前を挙げると、勝海舟、乃木希典、高橋是清らが赤坂の住人でした。

勝海舟は、軍艦奉行に就いたり、咸臨丸でアメリカに行ったり、西郷隆盛との江戸城無血開城の談判をしたりして大変活躍しました。元々開国派だった勝は、2500坪の土地を買って敷地内に洋館を建て、アメリカからホイットニー一家を受け入れました。彼らは周囲に英語や洋裁、キリスト教を教えました。勝は教育に非常に熱心で、軍艦のこともいろいろ教えを受け、それが後の日清・日露戦争にも生かされました。

乃木希典は、日清・日露戦争で活躍された方で、明治天皇が崩御した翌日に自害しました。乃木邸は大正16年に乃木神社となり、現在開放されています。

高橋是清は、共立学校(現在の開成中学・高校)の校長を務めた後、総理大臣や大蔵大臣も務めました。日本は日露戦争で軍事費を多く使って財政が傾いたのですが、高橋がそれを立て直したといわれています。

人材の「人」は1+1=2になりますが、「材」は1+1が10にも20にも無限大にもなります。日本の復興を振り返ると、その要因はやはり人材の要素が大きいと改めて思います。

私は定年後にボランティアを始めたのですが、そこで気が付いたことがあります。ボランティアは人さまのためだけではなく、自分のためにするのだということです。いろいろなことをしてきたのですが、「魅力あるまちづくり」を目指す会の座長になったときにいろいろ学んだ内容をかいつまんで今日はお話しました。

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204号
		TEL:03-3263-9220
会長	新保 雅敏	FAX:03-3263-9122
幹事	飯嶋 一晃	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	駒井 慎二	URL: www.koujimachi-rc.jp